

## 単元名 言葉の特性や曲想を生かして【旧】

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりについての知識や、他のパートの声や伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

12260207\_001

【教材名】 帰れソレントへ Top of the world (下 P.10～P.13)

【準備等】 範唱音源

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「帰れソレントへ」の歌詞の内容を理解し、強弱や速度調の変化などから曲想をつかんで歌唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞を朗読する。</li> <li>○ 範唱を聴いて、楽曲のイメージをつかむ。</li> <li>○ 同主調転調について知る。</li> <li>★ 転調による効果について話し合おう。</li> <li>○ 速度や強弱、同主調転調を生かした歌唱表現を工夫する</li> </ul> <p>2 曲想の変化を生かし、感情を込めて独唱（斉唱）する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 速度や強弱、転調を生かした表現を工夫する。</li> <li>★ 感情を込めて独唱しよう。</li> <li>○ 友達同士で互いの歌を聴き合い、よりよい歌唱表現を追究する。</li> </ul> <p>3 「Top of the world」の言葉の特性を理解し、ビート感などを感じ取って表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二分の二拍子の拍子感やAllegroの速度を感じ取って歌う。</li> <li>★ 「Top of the world」を歌おう。</li> <li>○ 英語の歌詞の内容や発音、歌詞のまとまりを感じ取り旋律を歌う。</li> <li>○ 曲想とその変化を味わい、表現を工夫し歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カンツォーネ（イタリア歌曲）の名曲であることを理解させる。</li> <li>・ 歌詞の内容と速度や強弱、同主調転調を生かした表現を工夫させる。</li> <li>【評】 歌詞の内容と曲の特徴を生かした表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】 速度や強弱、転調を生かした歌唱活動を通して、「技能」を評価する。</li> <li>・ 歌詞の内容と速度の変化、強弱が関連していることに気付かせ、感情を込めて楽曲にふさわしい表現で独唱（斉唱）させる。</li> <li>【評】 よりよい歌唱表現を追究する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 伴奏から拍子感や速度を感じ取り、旋律を歌わせる。</li> <li>・ 歌詞を朗読し、歌詞の内容を理解させる。</li> <li>【評】 歌詞の特徴を生かした歌唱活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・ 英語の発音を意識しながら旋律を歌わせる。</li> <li>・ 反復記号を確認し、曲の盛り上がる部分を考えながら表現を工夫する。</li> <li>【評】 歌唱表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 歌詞の内容や曲想とその変化を味わいながら歌わせる。</li> <li>【評】 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

「帰れソレントへ」では歌詞とリズムの反復、速度や強弱の設定、同主調転調などが生み出す雰囲気味わわせながら、イタリア語の表現を工夫させる。「Top of the world」では、英語の歌詞と関係する旋律のまとまりを理解して、斉唱や独唱で表現させる。2分の2拍子の拍子感、シンコペーションのリズム、言葉と関係するリズムなどを感じ取り、曲想を味わいながら表現を工夫させる。

【共通事項】 音色・リズム・速度・旋律・強弱・構成